

ハンドヘルドサーモグラフィカメラ ユーザーマニュアル

© 2021 Hangzhou Microimage Software Co., Ltd. 葉 • 無 断複製。

本マニュアルについて

本マニュアルには製品の使用および管理についての 本マニュアルには要品の使用およい管理についての 指示が含まれています。ここに記載されている写真、 表、画像およびその他すべての情報は説明のみを目的 としています。本マニュアルに含まれる情報は、ファ ームウェア更新やその他の理由で通知なく変更され ることがあります。HIKMICROのサイト (www.hikmicrotech.com/)で、本書の最新版をご覧く ださい。

本マニュアルは、本製品をサポートする訓練を受けた 専門家の指導・支援を受けた上でご使用ください。

商標に関する確認

 S HIKMICRO およびその他の HIKMICRO の商標とロ コは、様々な裁判管轄地域における HIKMICRO の所有 物です

言及されているその他の商標およびロゴは、各権利保 有者の所有物です。

法的免責事項

適用法で認められる最大限の範囲で、本マニュアルお よび説明されている製品 (ハードウェア、ソフトウェ ア、および本製品を含む) は、「現状のまま」および 「すべての欠陥とエラーがある」状態で提供されます。 HIKMICROでは、明示あるいは黙示を問わず、商品性、 満足な品質、または特定目的に対する適合性などを一 切保証しません。本製品は、お客様の自己責任におい てご利用ください。HIKMICROは、本製品の利用に関 連する事業利益の損失や事業妨害、データの損失、シ ステムの障害、文書の損失に関する損害を含む特別、 必然、偶発または間接的な損害に対して、それが契約 に対する違反、不法行為(過失を含む)、製品の責任ま たは製品の使用に関連するものであっても、たとえ HIKMICRO がそうした損害および損失について通知を 受けていたとしても、一切の責任を負いません。

ヘバーン・トレーン・ションスロビを見いません。 お客様は、インターネットにはその性質上固有のセキ コリティリスクがあることを了解し、異常動作、プラ イバシーの流出、またはサイバー攻撃、ハッカー攻撃、 ウィルス感染等のインターネットセキュリティリス クによる損害について、HIKMICROは一切責任を負い ません。ただし、必要に応じて HIKMICRO は適時技術 的サポートを提供します 的サポートを提供します。

お客様には、すべての適用法に従って本製品を利用し、 お各株には、サハモの週加温が適用法を低守していること さらにご自分の利用法が適用法を低守していること を確認する責任があります。特に、肖像権、知的財産 権、またはデータ保護等のプライバシー権を非限定的 に含むサードバーティの権利を侵害しない手段で本 製品を利用する責任があります。大量破壊兵器の開発 や生産、化学兵器・生物兵器の開発や生産、核爆発物 や危険な核燃料サイクル、または人権侵害に資する活動を含む、禁じられている最終用途の目的で本製品を 使用してはなりません。

本マニュアルと適用法における矛盾がある場合につ いては、後者が優先されます。

規制情報

EU 適合宣言



本製品および付属品(適用される 午餐間35605月間(2010) 場合)は、「CE」マークが付いており、無線機器指令 2014/53/EU、EMC 指令 2014/30/EU、 RoHS 指令 2011/65/EU の下に記載されている 該当欧州統一規格に準拠しています。



2012/19/EU (WEEE 指令): この記号 が付いている製品は、欧州連合 (EU) の地方自治体の未分別廃棄物 として処分できません。適切にリ サイクルするために、本製品は同 等の新しい装置を購入する際に、 お近くの販売業者に返却いただく か、指定された収集場所で処分し てください。詳細については次の か、 を参照して ください URL

www.recyclethis.info.



2006/66/EC (バッテリー指令):本製 品には、欧州連合 (EU) の地方自治 体の未分別廃棄物として処分でき

体の未分別廃棄物として処分できないパッテリーが含まれています。 特殊パッテリーが含まれています。 特殊パッテリー「輸銀に関する製品 資料をご覧ください。パッテリー にはこの記号が付いており、カド さウム (cd)、鉛 (Pb)、水銀 (Hg)を示す文字も記載さ れています。適切にリサイクルするために、販売業者 か、指定された収集場所にご返却ください。詳細については次の URL を参照してください: www.recyclethis.info.

安全上の指示

これらの指示は、ユーザーが製品を正しく使用し、危 険や財産損失を回避できるように保証することを目 的としています

法規と規則

 製品の使用にあたって、お住まいの地域の電気
 安全性に関する法令を厳密に遵守する必要があ ります。

輸送

- 輸送中は、デバイスを元のパッケージョ 似したパッケージに梱包してください。 ・ジまたは類
- ・開梱後は、後日使用できるように、梱包材を保存しておいてください。不具合が発生した場合、元の梱包材を使用して工場に機器を返送する必要があります。元の梱包材を使用せずに返送した場合、加増が数サイエス和シがモリナナがシーンを場合、加増が数サイエス和シがモリナナがシーンをした。 た場合、破損が発生する恐れがありますが、 当社は一切責任を負いません。 の際に .
- 製品を落下させたり、物理的な衝撃を与えない でください。本器を電磁妨害から遠ざけてくだ 物理的な衝撃を与えない さい。

置源

- ご自分で充電器をお求めください。入力電圧は、 IEC61010-1規格の限定電源(DC5V、300mA)を満たす必要があります。詳細情報に関しては技術 仕様を参照してください。
- プラグが適切に電源ソケットに接続されている ことを確認してください。
- 1台の電源アダプターに2台以上の機器を接続してはなりません。過負荷によって過熱したり、 火災発生の危険があります
- バッテリ・
- 内蔵バッテリーは取り外しできません。修理については必要に応じてメーカーにお問い合わせください。
- バッテリーを長期保存する場合は、半年に一度 はフル充電して、バッテリの品質を保つように してください。これを怠った場合、破損の原因 となります。 半年に一度 破損の原因
- ーラブが適切に電源ソケットに接続されている ことを確認してください。

- デバイスの電源がオフで、RTCバッテリーが満充 電されている状態では、時間設定は15日間保持 できます。
- 初回使用時は、デバイスの電源を入れた状態で、リチウムバッテリーからRTCバッテリーを8時間以上充電してください。
- ●標準の電源アダプターは5Vです。
- ・バッテリーはUL2054によって認定されています。

メンテナンス

- 製品が正しく動作しない場合、販売店または最 寄りのサービスセンターに連絡してください。 承認されていない修理や保守行為による問題に ついて、当社はいかなる責任も負いません。
- 必要ならば、エタノールを少量含ませたきれい な布でデバイスを静かに拭きます。
- ・メーカーが指定していない方法で使用した場合、 デバイスが提供する保護機能が損なわれる恐れ があります。

使用環境

- 実行環境がデバイスの要件を満たしていることを確認します。動作温度は-10℃~50℃(14下~122下)で、動作湿度は95%以下です。
- デバイスを強い電磁波や埃の多い環境にさらさないでください。
- レンズを太陽や極端に明るい場所に向けないで ください。
- レーザー装置を使用している場合は、デバイス のレンズがレーザービームにさらされていない ことを確認してください。焼損するおそれがあ ります。
- このデバイスは屋内および屋外での使用に適していますが、濡らさないようにご利用ください。
- ●防水レベルはIP54です。
- 汚染度は2です。

テクニカルサポート

 https://www.hikmicrotech.com ポータルは、 HIKMICROのお客様がHIKMICRO製品を最大限に 活用するのに役立ちます。ポータルから、サポ ートチーム、ソフトウェアとドキュメント、サ ービスの連絡先などにアクセスできます。

緊急

 デバイスから煙や異臭、異音が発生した場合、 すぐに電源を切り、電源ケーブルを抜いて、サ ービスセンターにご連絡ください。

レーザー光に関する補足警告



レーザーのメンテナンス:レーザーを定期的に メンテナンスする必要はありません。レーザー が機能しない場合は、保証期間中にレーザーア センブリを工場で交換する必要があります。レ ーザーアセンブリを交換する際は、デバイスの 電源をオフにしてください。注意 - ここで指定 されている以外の制御、調整、または手順の実行 などを行うと、危険な放射線にさらされる可能 性があります。

メーカー所在地:

Room 313, Unit B, Building 2, 399 Danfeng Road, Xixing Subdistrict, Binjiang District, Hangzhou, Zhejiang 310052, China

Hangzhou Microimage Software Co., Ltd.

法令順守通知:本サーマルシリーズ製品は、アメ リカ合衆国、欧州連合、英国などワッセナー・ア レンジメントの会員国を含むがそれだけに限定 されない各国・各地域で、輸出管理の対象となる 可能性があります。サーマルシリーズ製品を外国 へ転送・輸出・再輸出する場合は、貴社の法務・ コンプライアンス部門もしくは自国の政府機関 に、輸出ライセンスの条件についてご確認くださ い。 目次

I RESPONSABILITÀ

NELLA MISURA MASSIMA CONSENTITA DALLA LEGGE VIGENTE, QUESTO MANUALE E IL PRODOTTO DESCRITTO, CON IL SUO HARDWARE, SOFTWARE E FIRMWARE, SONO FORNITI "COSÌ COME SONO" E "CON TUTTI I DIFETTI E GLI ERRORI". HIKMICRO NON RILASCIA ALCUNA GARANZIA, NÉ ESPRESSA NÉ IMPLICITA COME, SOLO A TITOLO DI ESEMPIO, GARANZIE DI COMMERCIA

1	概要	Ę	1
	1.1	同梱物	1
	1.2	製品紹介	1
	1.3	主な機能	1

2	外制	2
	2.1	寸法2
	2.2	インターフェイス2
3	基本	록操作3
	3.1	デバイスの充電3
	3.2	電源オン/オフ5
	3.3	ライブ表示5
4	ディ	スプレイの設定5
	4.1	画像モードの設定7
	4.2	パレットの設定6
	4.3	レベルとスパンの設定6
	4.4	OSD 情報の表示6
5	温度	[測定9
	5.1	測定パラメータの設定8
	5.2	画像測定の設定8
	5.3	高温ターゲットの強化8
	5.4	温度アラームの設定8
6	キャ	・ プチャー・スナップショット9
	6.1	画像のキャプチャー9
	6.2	スナップショットの表示10
	6.3	スナップショットのエクスポート10
7	画面	īのキャスト10
8	メン	・テナンス11
	8.1	デバイス情報 の表示11
	8.2	時刻と日付の設定11
	8.3	フォーマット 保存11
	8.4	アップグレード12
	8.5	デバイスの復元12

9	付録	.12
	9.1 マテリアル放射率の参照	12
	9.2 よくある質問 (FAQ)	13

1 概要

1.1 同梱物 ハンドヘルドサーモグラフィカメラ (×1) 校正証明 書(×1) USBケー ブル トラップ (×1)



マニュア ル (×1)

<mark>注</mark> : ハンドヘルドサーモグラフィカメラには、 バッテリー1 つと microSD カードが 1 枚、同 梱されています。

1.2 製品紹介

ハンドヘルド赤外線カメラは、熱画像と光学 画像を備えたカメラです。 内蔵の高感度赤 外線検出器と高性能センサーが温度変化を 検出し、リアルタイムで温度を測定します。 ハンドヘルド赤外線カメラは、温度測定アプ リケーションのニーズに合わせて特別に設 計された熱技術に基づいています。 現場で 迅速にトラブルシューティングを行うこと ができます。

1.3 主な機能

温度測定

デバイスがリアルタイムの温度を検出し、 画面に表示します。

アラーム

ターゲットの温度がしきい値よりも高い場 合、デバイスは可聴および視覚アラームを出 力します。

超高解像度 (SuperIR)

イメージアップに優れたデバイスをサポー トの品質を向上させます。

クライアント ソフトウェア接続 PC:HIKMICRO ア ナ ラ イ ザ ー (https://www.hikmicrotech.com/en/industrial products/hikmicro-analyzer.software.html) を ダウンロードして、写真を専門的にオフライ ンで分析し、PC でカスタム形式のレポート を生成できます。UVC アラーム クライアン トを介して、デバイスのリアルタイム ライ ブ ビューを PC にキャストします。

2 外観

2.1 寸法



寸法はカメラのモデルによって異なります。

2.2 インターフェイス



 長押し:電源オン/オフ 短く押す:メニューを表示す るか、操作を確認します
 メニューを終了するか、前の メニューに戻ります。



注:

警告サインは、レーザーの下とデバイスの左側に あります。

充 電 イ ン ジ ケ ーター	デバイスが充電中の場合、LED インジケーターは赤く点灯し ます。 デバイスが完全に充電される と、LED インジケーターは緑色 になります。
USB イン ターフ ェイス	バッテリーの充電を行い、USB ケーブルでスナップショット をエクスポートすることがで きます。
起動	トリガーを引くとスナッブシ ョットをキャプチャーしま す。 レーザー機能がオンの場合、 トリガーを引くとレーザー光 のオン/オフが切り替わり ます。



デバイスから放射されるレーザー光は、目の怪 我や皮膚の焼損、発火性物質の原因となること があります。レーザーを目に直接当てないでく ださい。補光機能を有効にする前に、レーザー レンズの前に人や可燃性物質がないことを確 認してください。波長は 650nm で、出力は 1mW 未満です。レーザーは IEC60825-1:2014 規格に 適合しています。

3 基本操作

3.1 デバイスの充電

手順:

1. カメラの上部カバーを開きます。 2. USB ケーブルで、USB インターフェイス と電源アダプターを接続します。



注:

- デバイスの初回充電を行う際には、デ バイスの電源がオンになった状態で デバイスを8時間以上充電してくださ い。
- デバイスのリアルタイムクロック (RTC)に電力を供給する内蔵セルバッ テリーは、長期間にわたる輸送または 保管中に消耗する可能性があります。。
 デバイスのクロックが正常に機能す るように、RTCバッテリーは再充電す ることをお勧めします。
- RTC バッテリーを完全に充電するには、 以下の条件を満たす必要があります:
 - a) 充電式リチウムバッテリーを デバイスに取り付けてくだ さい。
 - eい。 デバイスをシャットダウンせ ず、8時間以上継続的に動作さ せてください。

3.2 電源オン/オフ

電源オン

レンズ カバーを取り外し、6 秒以上押し続 けてデバイスの電源を入れます。 デバイス のインターフェースが安定している場合、タ ーゲットを観察できます。

電源オフ

デバイスの電源がオンになっているときに、 デバイスの電源をオフにするには、6 秒間押 し続けます。

自動電源オフ期間の設定

ライブ ビュー インターフェイスで、 を押 して [その他の設定] → [自動電源オフ] に 移動し、必要に応じてデバイスの自動シャッ トダウン時間を設定します。

3.3 インターフェイス概要



4 基本操作

4.1 画像モードの設定

デバイスの画像モードを設定できます。 イン ジ モードは、特定のモデルでのみサポートさ ています。 実機またはデータシートを参照し ください。 トされ

手順:

以下で画像モードを選択します 1. 方法 - 設定 → 画像設定 →

画像モード └─をクリックして、好みの

画像モードを選択します。 サーマル:サーマル画像を表示します

リーマル: リーマル回像を表示しまり それだけ。 フュージョン:光学画像とサーマル画像を融 合します。このモードでは、エッジのはっき りした融合画像が表示されます。 ビジュアル:ビジュアル イメージのみを表 示します。

2.オプション: フュージョン モードを選択 する場合、 イメージ で距離を選択する必要 があります。 設定→視差補正

ターゲットまでの距離に応じて、熱画像と光 学画像をより適切に重ね合わせることがで きます。

3. 🖃を押して保存し、終了します。

注:

た: カメラは定期的にセルフ キャリブレーショ カメラは定期的にセルフ キャリブレーショ す。このブロセスでは、画像が一時停止し、 シャッターが検出器の前を移動するときに 「カチッ」という音が聞こえます。 セルフキ ャリブレーションは、起動時や非常に悪い環 境や暑い環境ではより頻繁に行われます。 これは、カメラの最適なパフォーマンスを確 保するための通常の操作です。

4.2 パレットの設定

パレットを使用すると、目的の色を選択で きます。 次の方法でパレットを切り替える ことができます。

手順:

•	[設定] → [パレット] に移動して好 みのパレットを選択し、 □ を押
	して保存して終了します。
•	ライブ ビューで ▼を押すと、パ レットが切り替わります。

4.3 レベルとスパンの設定

表示温度範囲を設定すると、パレット はその温度範囲内のターゲットに対し てのみ機能します。 レベルとスパンの パラメータを調整することで、画像の コントラストを向上させることができ ます。

手順:

1ライブ ビュー インターフェイスで、
 を押してメニューを表示します。
 2 () マ を押して、レベルとスパンを選択します。

3 設定モードを選択し、

のを押して

自動調整と手動調整を切り替えます。

自動モードでは、デバイスが表示温 度範囲を調整します

自動的。

手動モードでは、パラメータを選択し て設定インターフェイスに入ります。 む押して、最大ロックまたはロック 解除します。

温度と最小。 ▲/ ▼ を押してロッ ク解除値を調整します。 または、最大 のロックを解除します。 温度と最小。 ▲/ ▼ を押して、同じ温度範囲 のまま個々の値を増減します。

4 🕑を押して保存し、終了します。

4.4 OSD 情報の表示

•	[設定] → [表示設定] に移動して、情報を画面に表示 できるようにします。
•	パラメーター
•	放射率や距離などの温度測定パラメータ。
•	ブランドロゴ
•	ブランドロゴは画面左下に表示されるメーカーロゴ

です。 不要な場合はオフにすることができます。

5 温度測定

温度測定機能は、シーンのリアルタイム温度を提 供します。温度情報は、画面の左上に表示されま す。 この機能はデフォルトで有効になっていま す。

5.1 測定パラメータの設定

温度測定パラメータを設定して、温度測定の 精度を向上させることができます。

手順:

ライブ ビュー インターフェイスで、 🙂 を押してメニューを表示します。

2 🚺 / 🔽を押して、必要なパラメータを 選択します。

3 しを押して、設定インターフェイスに移 動します。

放射率:カスタムを有効にして、

放射率 ターゲットの放射率を熱放射として エネルギーを放射する有効性として設定し ます。

▲/
/

を押します。または、事前設定された放射率を選択できます。

距離:ターゲットとデバイスの間の距離を 設定します。

単位:詳細設定 → 単位に移動し、 ひ を 押して温度単位を設定します。

温度範囲:温度範囲を選択するか、自動切 り替えを選択します。デバイスは温度を検 出し、自動スイッチで温度範囲を自動的に切 り替えることができます

モード。

4 🖃 を押して保存し、終了します。

5.2 温度測定

デバイスはシーン全体の温度を測定し、シー ンの中心、ホット スポット、コールド スポ ットを表示するように管理できます。 **手順:**

- ライブビューインターフェイスでし ボタンを押して、メニューバーを表示 します。
- 2 ▲/▼ボタンを押して任意の設定 バーを選択します。

- 3 ・
 3 ・
 3 ・
 4 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 5 ・
 - 放射率:ターゲットの放射率を、熱放 射としての実効エネルギー放出率と して設定します。

<mark>注</mark>:放射率の値については、6.1 ー 般的素材の放射率リファレンスを 参照してください。

- 温度:環境の平均気温を設定します。
- 距離(m/フィート):対象とデバイスの 間の直線距離を設定します。

<mark>注</mark>:推奨される温度測定距離は、対 象のサイズが 80×80mm の場合で、 0.2m~2m です。

- ルール:ホットスポット、コールドスポットを選択して、ライブビューインターフェイスで最高温度、最低温度を表示します。
- 4 ▲/▼ボタンを押して目的のパラ メーターを選択し、◎ボタンを押して 有効にします。
- 5 必要に応じて、▲/▼ボタンを押して、設定値を増減させてください。 ▲/▼ボタンを長押しすると、値をすばやく変更できます。
- 6 回ボタンを押して、保存して終了し ます。

5.3 高温ターゲットの強化

ターゲット強化機能では、ターゲットの温度 が設定値よりも高い場合、ターゲットが赤く なります。

手順:

- ライブビューインターフェイスでし ボタンを押して、メニューバーを表示 します。
- 2 ▲/▼ボタンを押して、レーザーを 選択します。
- 3 ③ボタンを押して、レーザー光機能を オン/オフします。
- 4 うボタンを押して、保存して終了します。
- 5 ライブビューインターフェイスで、ト リガーを引くとレーザー光がオンにな り、トリガーを放すとレーザー光がオ フになります。

<mark>注</mark>:温度測定範囲、単位、パレットなどのそ の他のパラメーターも、上記の手順で設定で きます。 5.4 温度アラームの設定

アラームルールを設定すると、温度がルール をトリガーしたときにデバイスがアラーム を発します。 手順:

- ライブビューインターフェイス で、
 でを押してメニューを表示します。
- 2. ▲/マを押して、[アラーム]
 を選択します。
- ③を押して、機能を有効にします。
- [測定]を選択して、アラーム 規則を設定します。Alarm
 Threshold (アラーム閾値)を選 択して、閾値温度を設定しま
 す。ターゲットの温度が閾値よ
 り高いか低い場合、デバイスは
 アラームを出力します。
- 5. 5回を押して、保存して終了し ます。

6 スナップショットのキャ

プチャ

6.1 画像のキャプチャ

ライブビューでスナップショットをキャプ チャできます。 スナップショットは自動的 にアルバムに保存されます。

ライブビューでスナップショットをキャプ チャできます。 スナップショットは自動的 にアルバムに保存されます。 手順: 1 ライブ ビュー インターフェイスでは、キ ャプチャすることができます

次の方法でスナップショットを作成します。 - ライブ ビューでトリガーを押して、スナ ップショットをキャプチャします。 - ライブ ビューでトリガーを押し続けて、 レーザー光でターゲットを特定し、トリガー を放してスナップショットをキャプチャし ます。

注:

【その他の設定】→ [レーザー] に移動して、レーザー ライトのオン/オフを切り替えます。
 デパイスが PC に接続されている場合、スナップショットをキャプチャすることはできません。
 2 オプション: 熱画像をエクスポートして高解像度画面で表示する場合は、キャプチャする前にメニューで SuperIR を有効にします。SuperIR でキャプチャした画像の解像度は、元の画像の4倍です。
 3 オプション: 可視画像を個別に保存する必要がある場合は、[可視画像の保存] を有効に

要がある場合は、[可視画像の保存] を有効に します (光学レンズを備えたモデルでのみサ ポートされます)。

次はどうします: アルバム内のスナップショットを表示およ び管理し、PC にエクスポートできます。

6.2 スナップショットの

表示

手順:

1 ライブビューのインターフェースで、
 を押します。はメニューを表示します。

2 🔺/ 🗹を押して、"アルバム "を選択し を 押して、アルバムに入る。

3▲/⊂を押して、画像を選択する、 を押し て表示させます。

4 任意です: で写真を削除する場合は、 を 押します。ピクチャービューのインターフェ イス ◎を押してください。 ▲/ ▼を押す と、画像が切り替わります。

5 🗈を押して終了します。

6.3 スナップショットの

エクスポート

目的: タイプCケーブルでデバイスをPCに接続すると、 キャプチャされたスナップショットをエクスポ ートできます。

- ステップ:
- 1. Type-C インターフェイスカバーを持 ち上げます。
- 2. Type-C ケーブルでカメラを PC に接続 し、検出されたディスクを開きます。
- スナップショットを PC にコピーして 貼り付けてファイルを表示します。
- 4. PC からデバイスを外します。

注:

●最初の接続では、ドライバーが自動的にインストールされます。
 ●ドライブのインストール中に PC から Type-C ケーブルを外さないでください。または、デバイスに損傷を与える可能性があります。

7 キャスト画面

このデバイスは、UVC プロトコル ベースのクラ イアント ソフトウェアまたはプレーヤーによる PC への画面のキャストをサポートしています。 Type-C ケーブルを介してデバイスを PC に接続 し、UVC クライアント ソフトウェアを介してデ バイスのリアルタイム ライブ ビューを PC に キャストできます。 始める前に

● デバイスと PC を付属の Type-C ケーブルで 接続します。

● から UVC クライアント ソフトウェアをダウ ンロードし、クライアントを PC にインストール します。詳細な操作については、クライアントの ユーザー マニュアルを参照してください。

手順:

1 ライブ ビュー インターフェースで、 (④を押 して、[詳細設定] → [USB キャスト画面] に移動 します。_____

2 🕑を押して機能を有効にします。

3PC でクライアントを開くと、デバイスのライブ ビューと操作を表示できます。

8.1 デバイス情報の表示

ライブ ビュー インターフェースで、 ◎ を押 して [その他の設定] → [バージョン情報] に移 動し、デバイス情報を表示します。

8.2 時刻と日付の設定

ライブ ビュー インターフェイスで、 (●) を押し て [詳細設定] → [時間と日付] に移動し、情報を 設定します。

8.3 フォーマット保存

手順: 1 ライブ ビュー インターフェースで、 ◎を押 して、詳細設定 → ストレージのフォーマット に移動します。 2 ◎を押して [OK] を選択し、ストレージのフォ ーマットを開始します。

8.4 アップグレード

始める前に: 最初に公式 Web サイトからアップグレード フ ァイルをダウンロードします。 手順: 1 デバイスを Type-C ケーブルで PC に接続し、 検出されたディスクを開きます。 2 アップグレード ファイルをコピーし、デバイ スのルート ディレクトリに置き換えます。 3 デバイスを PC から取り外します。 4 デバイスを再起動すると、自動的にアップグレ ードされます。 アップグレード プロセスがメイ ン インターフェイスに表示されます。 注: アップグレード後、デバイスは自動的に再起動し ます。 現在のバージョンは、[その他の設定] →

8.5 デバイスの復元

ライブ ビュー インターフェイスで、(ڡ) を押し て [その他の設定] → [デバイスの復元] に移動 し、デバイスを初期化してデフォルト設定を復元 します。

9 付録

9.1 マテリアル放射率の参照

素材	放射率
人間の皮膚	0.98
РСВ	0.91
セメント・コンクリ ート	0.95
セラミック	0.92
ゴム	0.95
塗料	0.93
木材	0.85
アスファルト	0.96
ブロック	0.95
砂	0.90
±	0.92
綿	0.98
段ボール	0.90
ホワイトペーパー	0.90
水	0.96

9.2 よくある質問 (FAQ)

Q: 充電インジケーターが赤く点滅してい ます。 A: 以下の項目をチェックしてください。 1. デバイスが標準の電源アダプターで充 電されているかどうかをチェックします。 2. パッテリーを一度抜き差ししてみてく ださい。 3. 環境温度が 0℃(32下)を下回っていな いか、確認してください。

Q: キャプチャーまたは録画が失敗します。 A: 以下の項目をチェックしてください: デバイスが PC に接続されていて、キャ プチャー機能が使用できない状態になって いないか。
 ストレージスペースが一杯かどうか。
 デバイスのバッテリー残量が低下して いるかどうか。

Q: PC <mark>がカメラを認識しません。</mark> A: デバイスが標準の USB ケーブルで PC に 接続されているか、確認してください。

Q: カメラが操作できない、または応答しま せん。_____



Facebook: HIKMICRO サーモグラフィ LinkedIn: HIKMICRO Instagram: hikmicro_thermography YouTube: HIKMICRO メール: <u>info@hikmicrotech.com</u> ウェブサイト: <u>https://www.hikmicrotech.com/</u>